

【教員氏名】

村上 あかね

【単位数】

4 単位

【演習概要】

生物学的な性のあり方（セックス）に対して、社会的・文化的・心理的な性のあり方をジェンダーとよぶ。

ジェンダー論を学ぶことは、グローバル化する社会の「世界市民」として基本的な教養といえる。レディースデーがあるのはなぜだろうか？このような身近な疑問から出発し、自分が当たり前だと思っている「男らしさ」や「女らしさ」を見直すことに挑戦することで、社会の見方が変わるだろう。

これまで学んだ社会学の理論・学説だけではなく、経済学、人口学、人類学などの理論・学説も応用しながら、なぜかを徹底的に考え、知的な喜びを味わう授業とする。毎回、授業中にA4用紙1枚分のコメントを書くことを求めるので、受講にあたっては知的好奇心と知的柔軟性に満ちた積極的な姿勢を望む。グループディスカッション、ディベートやロールプレイングも行う。

【学習目標】

この講義の目標は、以下の3点である。

1. 学校・家庭・職場に焦点をあてて、私たちの生き方がジェンダーと関係がある現実を知り、その背後にあるメカニズムを理解する。
2. ジェンダーの問題を理解するために必要な用語やものの見方を学び、自分でも使えるようになる。
3. 性別役割分業体制が根強い日本では、女性だけではなく男性も困難な状況におかれていることを理解し、性別にかかわらず一人ひとりの違いを尊重できる社会を築くためにはどうすればよいか、問題を解決するための視点を養う。

【講義計画】

第1回：イントロダクション①：日本社会とジェンダー

第2回：イントロダクション②：男らしさ、女らしさとはなにか

第3回：性の多様性①：LGBTとは

第4回：性の多様性②：差別について考える

第5回：「男らしさ」「女らしさ」の作られ方①：親の役割①

第6回：「男らしさ」「女らしさ」の作られ方②：親の役割②

第7回：「男らしさ」「女らしさ」の作られ方③：学校の役割①

第8回：「男らしさ」「女らしさ」の作られ方④：学校の役割②

第9回：「男らしさ」「女らしさ」の作られ方⑤：メディアの役割①

第10回：「男らしさ」「女らしさ」の作られ方⑥：メディアの役割②

第11回：若者の働き方とジェンダー①：フリーターとジェンダー

第12回：若者の働き方とジェンダー②：働き方とその後の人生

第13回：恋愛・結婚とジェンダー①：恋愛結婚の誕生と現代の結婚

第14回：恋愛・結婚とジェンダー②：未婚化と結婚の意味の揺らぎ

第15回：家事・ケア労働とジェンダー①：母性神話

第16回：家事・ケア労働とジェンダー②：介護とジェンダー

第17回：離婚と一人親家庭①：離婚の実態

第18回：離婚と一人親家庭②：女性の貧困

第19回：日本型企業社会の成立と変容①：専業主婦の誕生

第20回：日本型企業社会の成立と変容②：男女間賃金格差の実態

第21回：日本型企業社会の成立と変容③：男女雇用機会均等法の意義

第22回：日本型企業社会の成立と変容④：ワークライフバランスと少子化

第23回：多民族社会の可能性①：日本の近現代史を体験する

第24回：多民族社会の可能性②：人種差別を考える

第25回：リプロダクティブ・ヘルスライツ①：自分の体を守る

第26回：リプロダクティブ・ヘルスライツ②：性の自己決定

第27回：ドメスティックバイオレンス①：デートDV

第28回：ドメスティックバイオレンス②：児童虐待

第29回：まとめ①：世界のなかの日本

第30回：まとめ②：これまでの学習を振り返って

【成績評価の方法】

試験評価：100%

【テキスト】

小平麻衣子・氷見直子『書いて考えるジェンダー・スタディーズ』新水社、

【参考文献】

授業中に指示する。

【準備学習の指示】

毎日、新聞を読んだり、ニュースを見ること。社会学科基礎演習で学んだ「レポートの書き方」を復習しておくこと。

【備考（管理者用）】

（社会学特講－ジェンダー論）02～09SS 生読替